

## 関連学会印象記

# 2005 年度米国麻酔学会 (ASA) 総会に参加して 「A Century of Advancing Patient Safety」

渡 邊 誠 之\*

まず冒頭にて、昨年の台風 Katrina によりお亡くなりになった多くの米国民のご冥福をお祈りし、またニューオリンズの街の復興に尽力されている方々へ心からエールを送りたいと思います。

平成 17 年は大変な年になりました。昨年は米国麻酔学会 (ASA ; 2005 年 10 月 22 日から 26 日) 創立 100 周年を迎えたお祝いの年でした。しかしながら皆様ご存知の通り学会開催約 2ヶ月前に台風 Katrina が開催予定地のニューオリンズを直撃し、甚大なる被害を与えました。ミシシッピ川が氾濫し家屋が浸水している様子は日本のテレビに毎日映し出されました。このような状況で総会を開催することは困難だろうとっていると 9 月 1 日に ASA 本部からニューオリンズでの開催断念のメールが届きました。世界中の麻酔科医が集まる巨大な学会です。今年もしかしたら開催自体が断念されるかもしれないと危惧しておりましたが、わずかに 2 日後の 9 月 3 日にはアトランタでの開催を決定したことを伝えるメールが届きました。ASA の決断の早さに脱帽し、アメリカ人の底力を見た思いでした。

さて九州の片田舎の久留米からサンフランシスコ経由で米国東部のアトランタまでとても長い道のりです。米国内の時差もありいったい何時間飛行機に乗っていたか正確には計っていませんが、ASA 参加時の米国横断は修行のひとつと思ひひたすら耐えながらアトランタに着きました。

翌日巡回バスに乗って Georgia World Congress Center に着くと、学会場のいたるところに ASA 100 周年のテーマ「A Century of Advancing Patient Safety」が掲げられていました。また Registration の

会場では ASA の象徴の灯台とともに「Vigilance」の文字が書かれている 100 周年を祝うパッチが置いてありました。Cool!! さすがです。日本において、麻酔科医不足で並列麻酔の是非を問うなどの議論がありますが、周術期の患者の安全を確保するための麻酔学(医療)の原点を常に忘れてはいけなことを再認識させられました。

一方、会場入り口には「Anesthesia Foundation・ASA Disaster Relief Fund」のコーナーがあり、これまでに寄付された 20 数万ドルもの金額と寄贈者の名前がモニター上に映し出され、台風 Katrina の被害の大きさを実感しました。また学会会場にはお祝いの雰囲気も少なく唯一 100 周年記念販売品を展示してあるボックスが入り口近くにあるのみでした。

Registration の受付では、高齢の御婦人が私の下手な英語を嫌な顔ひとつせず丁寧に應對していただきいつも感謝しています。またいつもたくさんの Refresher Course Lecture (RCL) (\$ 10/講演, 同時に 8 つの講演, 総数 100 以上) や Workshop (\$ 50/Workshop, 30 以上) が予定されています。RCL の受付では思いつくままチケットをいくつも買いますが、毎年このうち何枚かは眠たさのあまり必ず無駄になります。大抵どんな内容の講演でも会場には多くの麻酔科医が聴講しており、何か隠れた理由があるのかと疑ってしまうほどの真剣さに感心しています。また今年から Medically Challenging Cases という症例提示が行われていました。自分の発表の前に少しでも英語のスピードに慣れようと講演を聴きますが、時差ぼけの残る私はどうしても夕方になると雲の上を歩くような感覚に陥り、大抵睡魔にめげてホテルへと帰ってしまいます。(私だけですか?)

\*久留米大学医学部麻酔学講座



写真

ポスター会場やポスターディスカッション会場ではベーシックサイエンス, 呼吸, 循環, 痛み, 小児, 産科, 患者安全管理など多岐にわたり基礎実験や臨床研究の発表が全部を見て回るなど不可能なほど数多くなされていました。ただ今年は台風 Katrina の影響か, ぼつぼつとポスターが張っていないボードもありました。しかしこれほど発表数が多いとモデレーターや質問をしてくれる学会員との討議は短時間であり, やはり学会発表で終わらず論文に投稿しなければ多くの麻酔科医の目に留まらないことを再認識しました。

学会会場の近くに Children's Museum があり隣接のオリンピックパークを横切り受付を訪ねると,

大人だけの入場は拒否されてしまいました。しかし売店のみの入場は許され, 娘へのお土産を買うことが出来ました。会場近くには現在水族館とコカ・コーラのビルが建築中で, 次回アトランタでの ASA 開催時の楽しみが増えそうです。

いつも ASA に参加すると世界の麻酔科医のパワーに圧倒され反省ばかりになりますが, 今後めげずに参加し続ける努力をしていきたいと思えます。

最後に遠い昔フランス領であった雰囲気が残るニューオリンズの街が再興できることを, またいつか ASA 総会がニューオリンズの街で開催されることを心から願っています。